



【不登校ママの全国大会】2024年11月30日（土）開催

ファミスペ 2024 in 関東「子どもの自立をサポートするために、親が家庭でできること」

視覚的支援のツール開発・販売 20年の奥平綾子氏と当法人相談役の谷田、専門家でもあり当事者でもある2人の講師が、子どもの成長を促す具体的支援を軽快なトークでわかりやすく解説します。

不登校・引きこもりの子をもつ
ママたちのピアサポートグループ
ファミラボスペシャルセミナー

ファミスペ 2024 in 関東

2024年11月30日(土)

ファミスペ2024では「子どもの自立をサポートするために、親が家庭でできること」を学ぶセミナーを開催します。視覚支援と母子分離の大切さについて、視覚的支援のツール開発・販売20年の奥平さんと、当法人相談役の谷田（通称：みんな）が、軽快なトークでわかりやすく解説します。

第1部 講演 12:45-14:45
母子分離の重要性と
具体的に分けるもの
奥平 綾子さん
株式会社おめめどう代表

第2部 ワークショップ 15:00-16:30
家族が元気になる
スケジュール管理術
谷田 ひろみ
NPO法人ファミリーコミュニケーション・ラボ相談役
臨床心理士/公認心理師
F-NVC協会代表理事

※おめめどう商品の展示販売はありません。（見本展示のみ）事前注文のみ引き渡しができます。

懇親会 17:30-19:30 別会場にて（参加費別途）

参加費：一般 2,000円 / NPO会員 1,000円
会場：横浜市社会福祉センター 大会議室8A・8B
定員：106名
対象：不登校、引きこもり、発達に不安を感じている、という状態のお子さんがいらっしゃるご家族の方（お子様の年齢は問いません）

お申し込み・詳細は「ファミスペHP」から
ファミスペ2024 in 関東 検索
<https://fami-lab.com/npo/news/2024/08/887/>

NPO法人ファミリーコミュニケーション・ラボ
<https://fami-lab.com/npo/>

NPO 法人ファミリーコミュニケーション・ラボ

（所在地：大阪市天王寺区、代表者：鈴木典子、以下「ファミラボ」）は、2024年11月30日（土）横浜市にて、不登校、引きこもり、発達に不安を感じている、という状態のお子さんの家族を対象に、第12回ファミラボ全国大会「ファミスペ 2024 in 関東」を開催します。

ファミラボでは、年に1度、不登校状態を来している子の保護者に役立つイベント「ファミスペ」を開催。

今回は「視覚支援と母子分離の大切さ」の観点から「子どもの自立をサポートするために、親が家庭でできること」をテーマにセミナーを企画。また、ファミスペでは、同じ悩みを持つ保護者同士の交流を持つなど、毎日子どものことで頭と心がいっぱいの保護者を応援することもテーマのひとつとしています。

不登校のよくあるお悩み「親子のコミュニケーション」の改善

子どもが不登校状態を来すと、なかなかコミュニケーションがうまく取れないと感じられることはないでしょうか？

親は不安を抱えて、つい必要のないことまで口から出しがちです。そうすると、学校に行けなくなり自信を無くした子どもたちは、親の意図に反した受け取りをしがちで、言葉で何を伝えても悪くしてしまうということもあると思います。

そんな時、視覚支援で伝えることは、お互いの誤解が起きることを防ぎ、親子関係を良好なものにすることに役立ち、不安を和らげるための見通しを明確にするなど欠かせないツールとなります。

今回の講師である（株）おめめどう代表 奥平綾子さんは、自閉症の子の支援として視覚支援のグッズを開発されました。一般にはあまり知られていませんが、こうした支援グッズは万人に対して様々なシーンでとても役立つものです。



自閉症の特徴のひとつとして、コミュニケーションの難しさや不安感の強さがありますが、不登校状態を来した子と共通するものがあり、ファミラボのママたちも（株）おめめどうのグッズを愛用し、親子関係の改善に役立っています。子どもだけでなく、親自身もこうした支援を知ることによって生活がとても楽になっています。

母子分離の大切さ

今回の2人の講師は、専門家でもあり当事者でもあります。その2人が共通して言うことは「母子分離」。母親と子どもは、そもそもがとても境界線を引きにくい関係です。境界線が引けないと、子どもの事で不安を感じる事も多く、つい手だし口出ししてしまいがちです。奥平さんの話は、不安があろうがなかろうが、〇〇する事で境界線を引くことにつながるという、とても具体的で行動化が可能な方法になります。

時間管理は自分を作っていくことに大きな役割を果たします

「子どもの主体性の回復」と「子どものエネルギー回復」のサポートには、母親が自分のスケジュール管理ができるようになることが密接に関係してきます。

子どもとの関係でも、親と子が共に自分を大切にしよう（お互いの時間を大切にしよう）関係性を作ることは、子ども達が社会に出てから自分を社会性のある方法で大切にしていける事の大きな助けにもなっていきます。

ぜひこの機会に、自分に思いやりのある時間管理の方法を身につけていただければと思います。

セミナー内容

第1部 講演 「母子分離の重要性と具体的に分けるもの」

講師：株式会社おめめどう代表 奥平 綾子 氏

- ・母子分離ってなに？
- ・視覚支援って何なんだろう？
- ・視覚的支援をどこから、どのように、始めていったらいいの？

その目的を知ることによって生活に取り入れていくモチベーションも違ってきます。

奥平さんがご自身の体験から、積み重ねて発見してきた視覚支援と母子分離の大切さを解説します。

第2部 ワークショップ 「家族が元気になるスケジュール管理術」

講師：谷田 ひろみ（当法人相談役／臨床心理士／公認心理師）

「子どもの主体性の回復」と「子どものエネルギー回復」のサポートとスケジュール管理の関係性の解説と、具体的なスケジュール管理の方法をワークします。

※セミナーの後は、懇親会、翌日観光を予定しています。（参加対象者は母親のみ）



開催概要

開催日時	2024年11月30日(土) 12:45~16:30(受付12:15~)
場 所	横浜市社会福祉センター 大会議室 8A・8B(横浜市健康福祉総合センター内8階)
参加費	2,000円(NPO会員1,000円)
対象者	不登校、引きこもり、発達に不安を感じている、という状態のお子さんがいらっしゃるご家族の方(お子様の年齢は問いません) ※それ以外の方で参加を希望してくださる方は、席数を鑑みての個別対応とさせていただきますので、お手数をおかけいたしますが、お問い合わせくださいますようお願いいたします。
定 員	106名
受付期間	2024年10月6日(日) 21:00 ~ 11月23日(土) 23:59まで (NPO会員先行申込 10月1日(火) 21:00~) ※NPO会員先行申込及び会員価格については、申し込み時にNPO会員の場合、適用となります。

NPO 法人ファミリーコミュニケーション・ラボ

NPO 法人ファミリーコミュニケーション・ラボ、通称「ファミラボ」は、不登校の正しい理解の普及と、不登校児童を持つ保護者を支援する、同じ立場の保護者たちによるピアサポートグループです。

学習型親の会として、不登校のその後、子ども達の未来を大丈夫にするために、不登校期間中に親ができることは何か、をみんなで一緒に学んだり、考えたりしています。オンラインを含む12会場で、傾聴勉強会やお茶会、交流会を開催しています。

当法人の実績として、当法人会員で中学校3年時に不登校だった頃から継続的に参加されている63人の母親にインタビューしたところ、5年後時点で非就学・非就労の人は、3人(5%)という結果が出ました。

(※中学3年時不登校だった子の5年通過時点。非就学・非就労の割合は2割弱。)

『不登校に関する実態調査』～平成18年度不登校生徒に関する追跡調査報告書～(平成26年7月9日)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1349949.htm

※2023年4月 第3回キラッと輝く!OSAKA 市民活動グランプリ 優秀賞 受賞

ホームページ：<https://fami-lab.com/npo/>

メール：familab.info@fami-lab.com

電話番号：07052611115

【本イベント詳細】

<https://fami-lab.com/npo/news/2024/09/887/>

